

2008年度（後期） 人間行動基礎論（担当教員：今井久登）

レポート論題

課題のねらい

後期の授業内容を再確認するとともに、それを通じて人間や心についての自分の考えを深めることを目的とする。

課題の内容

以下の2つの課題のいずれかを選んで答えること。どちらも、番号を明記して項目ごとに論じてもいいし、項目分けせずにまとめて論じてもいい。ただし、項目分けをせずに書いた場合も、(1)～(3)の内容はすべて盛り込むこと。

課題1：個別的な課題 後期の授業で取り上げた内容のうちから、自分をもっとも興味を持った題材を選び、考察して論じる。

(1) 題材を選び、まとめる

後期の「人間行動基礎論」の授業で取り上げた内容のうちから、自分をもっとも興味を持った題材を選び、それが何かをまとめる。

(2) 授業内容および自習内容を踏まえて論じる

選んだ題材について、後期の授業の内容や、それについて自分で調べた内容を踏まえて考察し、論じる。

(3) レポートを通じて学んだ事を論じる

このレポートの作成過程（題材選び、自習、考察、執筆など）を通じて何を学んだかを考え、論じる。

課題2：総合的な課題 後期の授業全体を通じて学んだこと、考えたことを、批判的に論じる。

(1) 何を取り上げるかをまとめる

後期の「人間行動基礎論」の授業全体を通じて何を学んだか、どのようなことを考えたかをまとめる。

(2) 自分自身の視点から、批判的に考察する。

(1)で述べた論点について、自分自身の興味や関心、これからの進路や専門領域などと関連付けながら論じる。

(3) レポートを通じて学んだ事を論じる

このレポートの作成過程（題材選び、自習、考察、執筆など）を通じて何を学んだかを考え、論じる。

オプション:授業やレポートに関する感想や要望等があれば自由に書いて欲しい(記述の有無やその内容によらず、成績とは無関係)。

評価の基準

以下のポイントを中心にレポートの内容を総合的に判断し、成績評価を行う。研究協力体験での授業ポイントがある者は、レポートの評価に授業ポイントを加算する。その上で、大学から要請されている相対評価基準にできる限り準拠する形で成績を決定する。

- (1) 後期の授業内容をどれくらい広く深く理解しているか。
- (2) 授業以外の内容をどれくらい自主的に学習しているか。
- (3) どれくらい自分の頭を使って考えているか。
- (4) 題材選びや考察の切り口の、ユニークさや独創性。

レポートの形式

- ・ A 4 版の用紙を横書きで使用する。
- ・ 学生証番号、氏名、題名を書いた表紙を添付し、ホチキス止めする。
- ・ ワードプロ使用が望ましいが、手書きでも可。
- ・ 長さには制限なし。無駄に長くする必要はないが、半期の授業内容を前提としたレポートなので、必要な内容を不足なく論じていどの長さは必要になるだろう。

締切と提出先

提出期間は 2009 年 1 月 30 日 (金) から 2 月 6 日 (金) まで。提出先は教務課。郵送や添付ファイルによる提出は不可。提出期間をすぎて提出されたレポートは、いかなる理由があっても受け取らないので、要注意。